

十文字こども食堂の取り組み

～地域のつどいの場としてのこども食堂をめざして～



発表者：石垣 節子
阿部 誠子
樋渡 妙子

立ち上げの経緯

○令和4年の5月に行われた十文字地域協議体（ささえあいネット十文字）の情報交換会の中で、構成員の知り合いに、こども食堂のボランティアに参加したい人がいるという話がありました。



情報交換会の様子

○情報交換会には、地元の小学校、中学校の
PTA関係者が参加していたため、こども
食堂のニーズについて聞いてみると「貧困
対策というよりも、コロナ禍で子ども達の
集まる場所が無いので、つどいの場として
のニーズはあると思う」との意見。

食材は、地元のスーパーや
地域のみんなに呼びかけれ
ば協力してもらえるかも。



活動に参加したいボランティアがいて、つどいの場としてのニーズがあり、食材もどうにかなりそう！



**そうだ！
こども食堂をやってみよう**



やってみようとは言ったものの、何から始めていいのかわからなかったため、以前より、横手市でこども食堂を開催している「あさひこども食堂」から、講師を招き、こども食堂の立ち上げや、運営についての研修会を行いました。



研修会の様子



打ち合わせの様子

その後、開催日時や会場、内容、その他検討が必要な事柄について、ボランティアや協議体構成員が集まり、打ち合わせを行いました。

打ち合わせではみんなでいろんな意見を出し合いました

- ・ こども食堂の目的 ・ 開催日時 ・ 会場 ・ 対象者 ・ 定員 ・ 周知の仕方
- ・ 運営のための必要人数 ・ タイムスケジュール及び内容 ・ 参加費
- ・ 当日のメニュー ・ 必要な食材 ・ 食材の集め方 ・ 衛生管理 ・ ・ ・ など



結果として、次のように開催内容が決まりました。

○こども食堂開催計画

1) 目的

コロナ禍の影響により「子ども達が交流したり、様々な体験ができる機会が減っている」との声があります。また、子どもに限らず、孤独や孤食などの課題も増えています。そのような課題を踏まえ、こども食堂の取り組みを通して、地域みんなが気軽に集まれる場を作り、おいしいご飯を食べ、おしゃべりしながら多世代がつながりあえるように開催します。

2) 開催日時及び会場

第1回 日時：令和4年11月20日（日） 11：00～13：00

場所：十文字町健康福祉センター（三重地区を対象に開催）

第2回 日時：令和4年12月18日（日） 11：00～13：00

場所：十文字コミュニティセンター（十文字地区を対象に開催）

第3回 日時：令和5年1月22日（日） 11：00～13：00

場所：十文字西地区館（植田・睦合地区を対象に開催）

3) 対象

子どもや保護者を対象としますが、高齢者等地域の皆さんが参加協力しながら、みんなで交流できる“つどいの場”とします。

4) 内容

今回のメニューはカレーライスとします。みんなでご飯を食べながら交流を図るほかアトラクションやゲームなどにより親睦を深めます。

5) 参加費

中学生以下の子どもは無料としますが、大人は200円の協力金を依頼します。
協力金は次回こども食堂の必要物品の購入に使用します。

6) 周知方法

チラシを対象地区の各世帯に配布します。また、関係者、関係機関に周知の協力をお願いします。

7) ボランティア

こども食堂に関心のある地域住民やボランティア団体などに協力していただきながら、当日の運営や食材の調達などを行います。なお、支援する側・される側を分けず、みんなができる範囲で協力し、交流しながら開催します。

8) その他

当日は、会場で「学用品おさがりの会」のみなさんにご協力いただき、学用品の展示コーナーを開設します。

○周知用チラシ

ささえあいネット十文字からのお知らせ



～あったかいご飯とふれあい～ 三重地区こども食堂を開催します

子どもたちを中心に、地域の皆さんが楽しくご飯を食べ、交流できる“つどいの場”づくりをめざし『こども食堂』を開催します。
子どもだけでも、親子でも大歓迎です。楽しいアトラクションなどもありますので、ぜひご参加ください。

◆開催日 11月20日(日)

◆場 所 十文字町健康福祉センター

※特別養護老人ホーム憩寿園のとなります。

◆メニュー カレーライス

※お持ち帰りもできます。

◆参加費 こどもは無料
※大人は任意で200円の
協力金をお願いします。

◎タイムスケジュール
11:00 センター開館、受付
11:30 ちょこっとタイム
(アトラクション)

◆定 員 30名(要予約)
※参加を希望される場合は、下記までご連絡をお願いします。

12:00 屋食タイム
13:00 終了
※学用品の展示も行います。詳しくは裏面をご覧ください。
.



【お申込み・お問い合わせ】

ささえあいネット十文字事務局(横手市社会福祉協議会 十文字福祉センター内)
☎: 0182-42-5858 FAX: 0182-42-4577

※十文字・植田・睦合地区のこども食堂も今後開催する予定です。

おいせ

おさがりの学用品を展示します

地域にはまだまだ使えるのに、家庭で眠っている学用品がたくさんあります。そんな学用品を集め、必要な方へお渡ししている「学用品おさがりの会」のみなさんにご協力をいただき、学用品をこども食堂で展示します。無料ですので、必要なものがありましたらお持ち帰りください♪



◆学用品(例)



・絵の具セット ・習字セット ・ピアノカ ・彫刻刀
・裁縫セット ・給食着 ・柔道着 ・文房具



お願い

こども食堂にご協力をお願いします

①運営ボランティア

会場準備(テーブル並べなど)や調理、子どもの遊び相手などにご協力いただけるボランティアを募集しています。



②食材の提供

今回のメニューはカレーです。ニンジンや玉ねぎ、じゃがいもなど、ご自宅で食べきれず残っている野菜等がありましたらご協力をお願いします。



※こども食堂は今後も続けていく予定ですので、今回に限らず関心を持っていただけましたら、十文字福祉センター(42-5858)まで、ご連絡をお願いします。



開催までの準備段階で気づいたこと

- ・ボランティアの募集をすることで、地域にはボランティア活動に興味がある方たちが多いことに気づいた。
- ・今回、スーパーからの食材提供は難しかったが、地域のつながりの中で多くの食材を集めることが出来た。
- ・チラシを見て申し込む人だけでなく、関係者からの紹介や口コミで開催を知り、申し込む人が多かった。



地域のつながりや地域資源の重要性を実感！

○三重地区こども食堂

開催日時：令和4年11月20日（日） 11:00～13:00

開催場所：十文字町健康福祉センター

参加者数：44名…子ども10名、保護者8名、持ち帰り6名、ボランティア5名〔調理・アトラクション等〕、学用品おさがりの会1名、協議体構成員5名、市職員3名、社協職員6名

【会場風景】



【会場風景】



【会場風景】



○十文字地区こども食堂

開催日時：令和4年12月18日（日） 11:00～13:00

開催場所：十文字コミュニティセンター

参加者数：48名…子ども10名、保護者9名、地域住民2名、持ち帰り4名、
ボランティア12名（調理・アトラクション等）、協議体構成員5名、
学用品おさがりの会2名、市職員1名、社協職員3名

【会場風景】



【会場風景】



【会場風景】



○植田・睦合地区こども食堂

開催日時：令和5年1月22日（日） 11：15～13：00

開催場所：十文字西地区館

参加者数：68名…子ども24名、保護者16名、地域住民6名、ボランティア13名
（調理・アトラクション等）、協議体構成員4名、市職員3名、
社協職員2名

【会場風景】



【会場風景】



こども食堂を開催してみて

今回十文字地域で初めてのこども食堂を計画し、
計画通り3回開催することが出来ました。

この取り組みは今回だけで終わるのではなく、
来年度以降も継続していきたいと考えています。



そのため、来年度以降の活動につなげるために、
参加していただいた皆様に、こども食堂について
のアンケート調査にご協力いただきました。

また、ボランティア、関係者からも活動してみ
ての感想や意見をいただいているのでご紹介します。

参加者のみなさんからのご意見・ご感想

- ・ 気軽に来れる雰囲気良かった。
- ・ ただ、ご飯を食べるだけでなく、遊べたり、交流があったことが良かった。
- ・ 地域の人たちとお話出来る事が良いと思った。
- ・ 土日の日中にやってくれたので良かった。
- ・ 親子で楽しく過ごす時間が出来て良かった。定期的開催してほしいです。
- ・ 子どもの事を考え、読み聞かせや食の大切さを教えてくれてありがとうございました。
- ・ 参加したことで、子どもに新しい友達が出来ました。とても良い機会でした。
- ・ ボランティアさんは、いろいろなアイデアを持っている方が多く、地域の力を感じました。
- ・ 学用品のおさがりお渡し会があってよかった。
- ・ 子どもの年齢によってご飯の量など変えられれば良いと思った。
- ・ 受付後、どうしてよいかわからなかったなので、案内する人がいてくれればよかった。

ボランティア・関係者からの意見・感想

- ・異年齢の子ども達と一緒に楽しむ姿は、微笑ましかった。
- ・親子共に戸惑っている様子も多少見られたので、回を重ねることでリラックスして楽しめるようになると思います。
- ・子ども達が「楽しかった」という思い出になるよう企画を工夫していきたい。
- ・参加した皆さんと共に交流できたこと、役に立つことが出来てよかったと思います。
- ・こども食堂を通じて、地域とのつながりやコミュニティが広がり、お互いに支え合える地域になるよう呼び掛けていきたいと思います。
- ・会場を3地区で行うのであれば、それぞれの地区毎にボランティアが集まってくれることが望ましいと思うので、これからも呼び掛けていきたい。
- ・食材の調達について、道の駅と連携し、生産者の協力を得て、地産地消や食品ロスにも関りながら、開催出来ればよいと思う。
- ・責任者（リーダー）を明確にすることで、統率の取れたよりよい運営ができると思う。
- ・今後とも、地区交流センターで活動を支援していきたい。

こども食堂は世代間交流、地域との交流につながっています



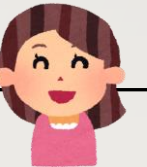
家に一人でいて、黙ってテレビを見ている生活はつまらない。こども食堂で、子どもたちに関わって、本当にうれしかった。



子ども達が、地域の高齢者に「あやとり教えて」と駆け寄っていくのを見て、微笑ましく思った。



地域の皆さんが、自分の得意な分野で、協力することで、こども食堂が成り立っているのが、素晴らしい。



○最後に . . .

今回、十文字地域で初めてのこども食堂開催ということで、試行錯誤しながらもなんとか開催することが出来ました。

今後、参加者やボランティア、関係者のみなさんからいただいたご意見・ご感想を参考にしながら、ボランティアを中心に打合せを行い、次年度の活動につなげていきたいと考えています。

みなさまのご参加、ご協力をお待ちしています



ご清聴ありがとうございました